

すめらみこと おほみろた
天皇の御製歌二首

一五三九番

あき たの 穂田を雁がね 暗けくに 夜のほどろ
にも 鳴き渡るかも

一五四〇番

けさ あさけ かり 雁が音寒く 聞きしなへ 野辺の
あなぢ いろづ 浅茅そ 色付きにける

ださいのそちおほとものまへつきみ うた
大宰帥大伴卿の歌二首

一五四一番

わが をか さ雄鹿来鳴く 初萩の 花妻問ひに
きな をしか 来鳴くさ雄鹿

一五四二番

わが をか 秋萩の花 風を痛み 散るべくなりぬ
み ひと 見む人もがも